

藤枝の歴史

History of Fujiyeda

People began living in Fujiyeda more than 20 thousand years ago. These are key points in the history that has continued through that time.

原始・古代

原始時代の藤枝〔約2万年前～1700年前〕

藤枝に人が住み始めたのは、今からおよそ2万年前の旧石器時代の終わり頃のことです。縄文時代には、海の幸、山の幸に恵まれた瀬戸川や大井川に面した丘陵上に人々が住みつきました。その代表的な遺跡が天ヶ谷遺跡です。また、弥生時代になると米作りが始まり、上藪田などの平地に大規模な集落や水田がつくられました。

古代の藤枝〔約1700年前～800年前〕

4・5世紀になると、畿内の大和政権を中心に国づくりが進み、市内でも4世紀の終わり頃に、時ヶ谷五鬼免1号墳・若王子12号墳などの古墳がつくられました。6世紀には、瀬戸や原などの丘陵に古墳群がつくれ、その数は約1500基にもなります。



奈良・平安時代になると、志太平洋野に志太郡と益頭郡が置かれました。二つの郡衙(郡に置かれた役所)はともに藤枝市内に置かれ、志太平洋野の政治・経済・文化の中心となっていました。

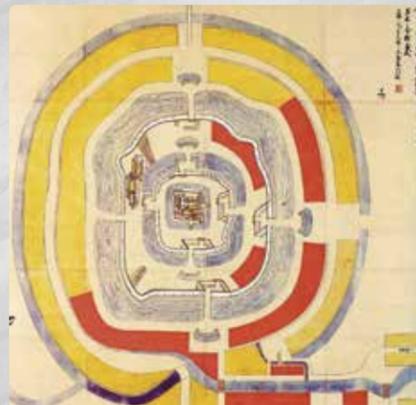
中世・近世

中世・近世の藤枝〔1185年～1867年〕

武家政権である鎌倉幕府が開かれると、京都と鎌倉とを結ぶ東海道はますます重要になりました。「藤枝」の名が紀行文などに出てくるのもこの頃からのことです。

室町時代には今川氏が一時、葉梨に館を構えたといわれ、また戦国時代には田中城を中心に今川氏、武田氏、徳川氏の攻防戦の舞台ともなりました。

江戸時代になると田中藩が志太平洋野の村々の大半を治め、また、藤枝宿・岡部宿は東海道五十三次の宿駅として上り下りの旅人でにぎわいました。



市指定文化財 田中城古図

近現代

近代・現代の藤枝〔1868年～現在〕

江戸時代に宿場町・城下町としてにぎわった藤枝は、明治時代になると、農業・商業を中心に発展しました。1889年に東海道線、さらに1913年に藤相鉄道が開通すると、お茶・しいたけ・みかんなどの特産物の集散地として、藤枝は重要な役割を担うようになりました。

藤枝市が誕生したのは、1954年のことです。1954年3月31日 藤枝町(除大覚寺上および大覚寺下地区)、青島町、葉梨村、稲葉村、大洲村、高洲村が合併し、藤枝市として市制を施行。高草山と大井川に挟まれた地域の都市として誕生しました。その後、国道1号線や東名高速道路の開通によって、工業化や宅地化が急速に進み、県下の中堅都市としてさらに発展を続けています。2009年には、隣町の岡部町と合併し、人口も約14万5千人になりました。藤枝市は、藤とサッカーと東海道のまちとして、その名が全国に知られています。

藤枝から広がる 友好の輪

— 国内交流・国際交流 —

Here, we introduce our friendship cities.

ソウル
Seoul

韓国
Korea

姉妹都市提携
韓国・楊州市
ソウル市の北隣に位置する、人口約22万8千人の都市。ハイキングコースや景勝地へ韓国国内から多くの人々が訪れます。教育や歴史・文化などを重点政策に掲げ、産業などの発展が目覚ましく、平成21年、富士山静岡空港の開港を契機に交流が始まりました。

親善友好都市提携
石川県白山市
石川県中央部に位置する、人口11万3千人の都市。自然豊かな地域特性を生かした海水浴やウィンタースポーツなど多くの観光資源のほか、米や地酒に代表される多くの特産品が有名です。昭和58年、旧松任市との友好都市提携から交流を続けています。

スポーツ・文化交流都市提携
福岡県福岡市
人口約160万3千人で、東アジア周辺地域とも積極的な交流を行う九州最大の都市。九州の行政・経済・文化・教育・ファッションの中心です。サッカーチーム藤枝ブルックス(現・アビスパ福岡)の本拠地移転が縁で平成7年に交流が始まりました。

日本
Japan

藤枝市
Fujiyeda

ゆかりの郷提携
岐阜県恵那市
岐阜県の南東部に位置する人口約4万9千人の都市。豊かな自然があり、中山道の宿場町や800年の歴史を持つ女城主の城下町など、歴史的な観光地として多くの人々が訪れます。江戸時代、市内横内に岩村藩の領地があったことから、平成元年、旧岩村町とゆかりの郷として交流が始まりました。

友好都市提携
埼玉県深谷市
埼玉県北西部に位置する、人口約14万3千人の都市。市内各地で赤レンガの建物を見ることができます。また、「深谷ねぎ」は全国ブランドとして認知されています。深谷市と合併した、旧岡部町と本市旧岡部町との友好都市提携を契機に交流を続けています。

姉妹都市提携
オーストラリア・ペンリス市
シドニーの西55kmに位置する、人口約21万人の都市。ブルーマウンテンの麓、自然豊かなネピアン川の流域にあり、オーストラリア産米を使った日本酒の生産も行われています。昭和59年から国際感覚の向上と、国際理解を深めることを目的に交流が始まりました。

オーストラリア
Australia

友好都市提携
沖縄県宮古島市
沖縄本島から南西方向約300kmに位置し、大小6つの島で構成された人口約5万5千人の都市。エメラルドグリーンに囲まれ、マリリゾートの地としても有名です。特産品も多く、全国から多くの観光客が訪れます。平成23年、もずくを活用した産業連携から交流が始まりました。

シドニー
Sydney



友好都市提携
北海道恵庭市
札幌市と新千歳空港のほぼ中間に位置する、人口約7万人の都市。恵庭渓谷には「白扇の滝」「ラルマナイ滝」「三段の滝」などの観光スポットが点在します。また、ガーデニングのまちとして、市民主導による花のまちづくりが盛んです。産業交流や災害時相互応援協定の締結を経て、平成28年に交流が始まりました。